

拝復

中四国や九州地方が梅雨入りしたとのニュースが流れていますが、被災地九州への影響が懸念され、心よりお見舞い申しあげたいと存じます。

さて、この度は「山と人 20 号」をお送りいただき誠に有り難うございました。母校の山岳会（部）が次々と偉業を達成されることは、我々卒業生にとってもこの上ない誇りであり、喜びでもあります。

最近、母校の運動部が部員集めに苦勞されていると話を耳にすることがありますが、素晴らしい業績を残しておられる山岳部さんに於いてはそのようなご苦勞はないのではと拝察しています。

ところで、百周年記念事業の一つとして「氷ノ山千本杉ヒュッテの改修」が行われたとのことですが、記事を読んで氷ノ山での苦い経験を思い出しましたので恥を忍んでご紹介します。

大学卒業後まもなく、姫路分校時代のテニス部の友人と麓の福定村から東尾根～山上近くのヒュッテ（当時は「尼工ヒュッテ」というように記憶していますが）～戸倉へとスキーツアーに出かけました。ヒュッテで昼食を済ませて外に出ると天気は一変猛吹雪となっていました。

勘を頼りに戸倉に向けて滑り出しましたが途中で雪庇から落ち、恐怖で足が硬直し、二人でうろついていたところ、偶々戸倉からルート造りの竹竿を立てに登って来ておられた方にお会いし、無事戸倉まで誘導していただきました。

この命の恩人は、昔、阪神タイガースで活躍された別当薫さんのご兄弟で、今でもご恩を忘れることが出来ません。

卒業直後の安サラリーマンで、たばこ 1 箱をお礼の印に麓の店で買い求めたような次第で、未だに申し訳ない気持ちが残っています。

お礼のご返事が恥を曝すようなものとなり申し訳ございませんが、
氷ノ山と聞くと、強烈な記憶が蘇ることをご理解いただき、ご容赦のほ
どお願い申し上げます。

暫く梅雨の季節が続きます。一層のご自愛の上、ご健勝な毎日をお過
ごし下さいますよう祈念申しあげます。

まずは取り急ぎ御礼申しあげます。

敬具

神戸大学山岳会副会長

山田 健様

平成 28 年 6 月 4 日

山崎 正弘 拜